

ヒルズレポート

2024. 4 月



【ヒルズ 11 年目がスタートしました。これからも地域における科学教育の核となる施設としてイベント、体験教室等、工夫を重ねていきます。ご支援宜しくお願ひします。】

4/7 人間 VS ロボット チアリーディング対決 村田製作所ロボットショー



金沢大学チアリーディング部 GREEN APPLES

村田のロボットチアリーディング部は互いを感知し、制御することで衝突しない位置を取ることのできるシステムをもっていました。ロボットの腕のライト（ポンポン）が緑から赤に変わり、そのシステムが発動しました。

金沢大学の GREEN APPLES は、一糸乱れぬリズムミカルな動きに高いジャンプと笑顔が素敵なグループでした。手拍子で一緒に盛り上がりました。

4/13 プラネタリウム DE サイエンスショー&スターウォッチング

スターウォッチング「見えるか?青空の月と木星」空を見てもどこに木星があるのか見つけることができませんでした。でも、誰かが「あの鳥の飛んでいる所の下に薄く光って見えるのが・・・?」そうです。私たちは鳥に木星の位置を教えてもらいました。



サイエンスショーでは、暗闇の中で紫外線や赤外線等のいろいろなカメラを使って映像を見ました。テレビでは見たことはあっても、間近で見ると、実に興味深いものがあります。

4/14 元素の実物付き周期表を作ろう 講師 四ヶ浦 弘 氏



四ヶ浦先生の教室は、子どももさることながら大人の皆さんが、一生懸命に学んでいる姿が印象的です。子どもは実験を通して実物の金属を周期表に貼るのが楽しそうです。あるお父さんは、「子どもと一緒に参加しましたが、何か自らの学び直しの場のようなようです。」と笑いながら話してくれました。

4/20 南極・昭和基地ライブトーク

「どちらが南極の氷でしょう?」。南極の氷はヒントがあってもわかりませんでした。それから南極は日本とマイナス6時間の時差があるそうです。15時にライブトークが始まったということは、南極は9時ですね。地球上にあっても全く知らない土地、それ南極かもしれません。この日、南極のことについて好奇心いっぱい質問した女の子がいました。女子高生が南極を目指すテレビアニメ「宇宙よりも遠い場所」の一場面を見ているようでした。興味を持って、これからも進んでいってほしいと思いました。

